

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
5	1	1	勤労者会館運営費	1,163 千円	894 千円	246～247

【商工振興課】

○勤労者会館運営 894 千円

勤労者の文化の向上と福利厚生を図るため、勤労者会館を運営し、有効活用を図りました。

令和4年度 利用状況	利用回数 (回)	利用人数 (人)
大ホール	3	72
中ホール	11	192
小ホール	37	488
会議室A	77	785
会議室B	3	26
合計	131	1,563

(参考) 令和 3年度 99回 1,249人

令和 2年度 86回 1,109人

【使用料収入】 令和 4年度 829千円
 令和 3年度 805千円
 令和 2年度 784千円

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
5	1	2	労働諸費	13,709 千円	13,709 千円	246～247

【商工振興課】

○シルバー人材センター運営費補助金 13,709 千円

高齢者の就業その他多様な社会参加活動を援助し、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進及び活力ある地域社会づくりに寄与しているシルバー人材センターの運営費の一部を補助しました。

《事業実績》

年度	受注件数	就業延人員	受注契約額	会員数
R4	2,118 件	6,332 人	121,043 千円	242 人
R3	2,153 件	6,406 人	128,972 千円	264 人
R2	1,781 件	6,549 人	137,483 千円	296 人

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	1	農業委員会費	48,453 千円	46,205 千円	248～251

【農業委員会】

○農業委員会の体制

農業委員 定数19人 実数19人
 任期 令和2年7月20日～令和5年7月19日
 農地利用最適化推進委員 定数19人 実数19人
 任期 令和2年7月29日～令和5年7月19日

○3か年の申請許可状況

◇農地法に基づき受理及び審議承認した農地転用等件数

(面積：㎡)

種 別	年 度		R 2年度		R 3年度		R 4年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
3条(農地として活用…所有権移転、耕作権の設定)	32	81,426	43	80,300	28	40,237		
4条(農地の転用…自分名義)	10	7,736	12	4,856	8	8,355		
5条(農地の転用…他人名義の農地を売買又は貸借して)	66	43,883	59	48,914	41	34,937		

◇農業経営基盤強化促進法による申請件数

(面積：㎡)

種 別	年 度		R 2年度		R 3年度		R 4年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
貸借(新規)	118	299,556	49	126,769	44	118,446		
貸借(更新)	132	280,520	97	210,683	98	214,404		
所有権移転(売買等)	28	45,689	29	42,159	30	54,853		

※農業経営基盤強化促進法…農業経営の規模拡大や合理化を進めていく意欲のある農業経営者(認定農業者等)支援のための法律で、農地法の許可を受けずに農地の貸し借り等ができる制度

○農地利用最適化交付金事業 2,034 千円

農地等の利用の最適化(担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等)の推進に係る活動の実績に応じ、農業委員及び農地利用最適化推進委員へ報酬を支給しました。委員等及び委員会の活動実績に応じた交付金 2,034 千円

○農業者年金業務事業 202 千円

農業者年金は、農業者年金基金法に基づく農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を目的とした年金制度であり、農業者年金基金から委託を受け事務を行っております。

新規加入者申込届や裁定請求書、現況届などの届出書の受付、農業委員・農地利用最適化推進委員による加入対象者への周知及び加入推進活動を行いました。

区 分		年 度		
		R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度
年金受給者 (人)		4 7 3	4 4 9	4 3 2
被保険者 (人)		1 8 5	1 8 0	1 8 4
届出受付件数 (件)	新規加入者申込	1 1	1 0	8
	死亡・脱届受付	4 1	3 7	3 5
	経営移譲年金請求 (旧制度)	0	1	0
	老齢年金請求 (旧制度)	2	9	5
	特例付加年金請求 (新制度)	0	1	0
	老齢年金請求 (新制度)	1 5	1 8	1 5

○機構集積支援事業 1, 227 千円

農地中間管理機構が担い手への農地の集積・集約化を促進するに当たって、農業委員会が関連する事業を実施しました。

- ・ 農地利用状況調査……市内全域の農地を、農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局・農林課と共にパトロールを実施し、遊休農地の把握を行いました。
- ・ 農地利用意向調査……遊休農地所有者に対して意向調査を行い貸借等の斡旋や、遊休農地の解消に努めました。
- ・ 遊休農地面積…………… 1 9 . 6 ha (前年 1 9 . 8 ha)

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	3	農業振興費	192,808 千円	117,885 千円	252～261

【農林課】

○雇用労力支援システム事業 5,911 千円

担い手農家の規模拡大等に必要な労働力を安定的に確保するためには労力支援システムの構築が必要であることから、農援隊を組織する農協に対し補助を行いました。

事業の成果としては、農作業労力支援システムの活用により労力不足を解消し農業経営の安定に繋がりました。

受益戸数	158 戸
利用日数	3,129 日
事業費	42,184 千円（うち補助対象事業費：11,823 千円）
負担割合	市：1/2、農協：1/2

○産地生産基盤パワーアップ事業 25,758 千円

水田・畑作・野菜・果樹・花き等の産地が創意工夫を活かし、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づいて実施する競争力の強化や産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援しました。

受益戸数	スイカ・ゴーヤ等 5 戸 イチゴ 1 戸（認定新規就農者）
事業量	連棟ハウス（スイカ・ゴーヤ等）0.4ha 連棟ハウス（イチゴ）0.18ha
事業費	スイカ等 47,311 千円（うち補助事業対象事業費：46,498 千円） イチゴ 25,111 千円（うち補助事業対象事業費：25,111 千円）
補助率	国：1/2 市：1/10（認定新規就農者特例）



〔連棟ハウス〕



〔連棟ハウス〕

○有害鳥獣対策事業 11,853 千円

農業収益の低下を招く有害鳥獣による被害を防止するため、対策の一環として猟友会へ捕獲を委託し、実施しました。

また、イノシシの畑への侵入防止を目的としてワイヤーメッシュ柵の整備を行いました。加えて、有害鳥獣捕獲従事者の育成を図るため、狩猟免許取得支援を行いました。

事業の成果として、有害鳥獣であるイノシシ等による農作物被害の軽減に繋がりました。

・有害鳥獣捕獲等実績

イノシシ	イノシシ以外の獣	カラス	WM柵設置長
615 頭	106 頭	393 羽	217m



[イノシシの捕獲]



[WM柵]

○農地中間管理機構事業 4,594 千円

農地中間管理事業の業務を効果的に進めるため、農地集積専門員の設置等を行いました。

事業の成果としては、事業の円滑な推進が可能となり、担い手への農地集積・集約化の加速化に繋がりました。

事業内容	農地集積専門員設置 1人等
集積面積	農地中間管理機構による新たな集積面積 29.3ha
補助率	国：10/10

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	4	畜産業費	120,564 千円	72,606 千円	260～263

【農林課】

○畜産環境衛生保全事業 6,543 千円

畜舎周辺の宅地化が進んでおり家畜の飼育に起因した悪臭・衛生害虫の発生は、畜産経営の持続的発展に影響をきたすことから、畜舎の環境保全を図る薬剤の購入に対し補助を行いました。

事業の成果としては、衛生害虫及び悪臭発生防止等が図られ、畜産経営の維持継続と畜産環境の保全に寄与しました。

受益戸数	62 戸
事業費	29,035 千円
補助率	市：1/3 以内

○島原半島良質堆肥広域流通促進事業 15,186 千円

島原半島は、農林畜産業が盛んであることから、堆肥の生産量と使用量が多いため、過剰施用に伴う硝酸性窒素による地下水汚染の要因となることが懸念されるため、堆肥の広域流通組織をモデル的に育成する取組に対し補助を行いました。

事業の成果としては、堆肥施用に起因する環境への負荷を軽減するとともに畜産業の持続的発展と環境保全型農業の推進に寄与しました。

受益戸数	1 組合
事業量	堆肥運搬車、ホイールローダー、フォークリフト他
事業費	30,371 千円（うち補助対象事業費 27,610 千円）
補助率	県：1/2 以内 市：5/100 以内



[堆肥運搬車]



[ホイールローダー]

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	5	農地費	353,143 千円	218,822 千円	262～269

【耕地水産課】

○県営事業費負担金 94,491 千円

県営の畑地帯総合整備事業（三会原第3地区）ほか6件に対し、負担金を支出しました。

(千円)

事業名	箇所名	事業内容	事業費	負担金	小計
県営畑地帯総合整備事業	三会原第3地区	付帯工事、測量、換地	3,000	345	85,461
県営畑地帯総合整備事業 (R3年度繰越)	三会原第4地区	測量、設計、換地、 区画整理、用排水施設	620,000	75,916	
県営畑地帯総合整備事業	三会原第4地区	測量、設計、換地、 区画整理、用排水施設	80,000	9,200	
県営ため池整備事業	寺中ため池	改修工事	35,280	3,881	3,881
県営水利施設等保全高度 化事業実施計画策定事業	東大地区	事業実施計画書作成	7,000	1,575	4,475
	三会原地区	機能保全計画策定	2,900	2,900	
県単独土地改良調査費	一野地区	事業実施計画書修正	2,249	675	675
計			750,429	94,492	94,492



着工前



着工後

○需用費（修繕料） 17,753 千円

農業用の道路や河川等の施設において、破損箇所の補修や改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めました。

工 種 名	件 数	支出額（千円）
農道修繕	25 件	8,060
用排水路修繕	24 件	9,693
計	49 件	17,753

○地方創生整備推進交付金（調査計画事業） 7,153 千円

広域農道については交通量が多い路線であり、大型車両の増加に伴い、舗装の劣化も進んでいることから広域農道の劣化診断の指標として路面性状調査、たわみ量調査等を実施し、下記整備路線の健全度及び優先度を考慮した舗装維持管理計画の策定を行いました。

▼事業内容

島原地区農道個別施設計画策定業務委託

▼補助率

国費 50%

▼対象路線

茶屋松 1 号線

出の川原口線

グリーンロード有明線

○工事請負費 31,779 千円

農業用施設である農道や河川等の用排水路の改修を行い、利用者の安全性や利便性の向上を図りました。

工 種 名	件 数	支出額 (千円)
ため池浚渫工事 ・ 深底ため池浚渫工事 ・ 荒牧ため池浚渫工事	2 件	17,130
農道・水路改修工事 ・ 山之内上地区水路改修工事 ・ 中河川河床工事 ・ 農道上長貫線路肩改修工事 ・ 寺中川護岸整備工事	4 件	14,649
計	6 件	31,779

農道上長貫線路肩改修工事



着工前



竣 工

○原材料費 2,404 千円

公団上にある農道の舗装打設や用排水路の漏水対策で自然排水路の改良などの必要性が高く、受益者が自ら施工できるものに対し、生コンなどの資材を支給し、営農の効率化や農業経営の安定を図りました。

工 種 名	件 数	支出額 (千円)
生コンクリート	6 件	2,404
計	6 件	2,404

○多面的機能支払交付金 34,203千円

農業者や地域住民が参加する活動組織による農業用施設の維持管理や地域の生態系保全、景観形成などの活動に対し交付金を交付しました。

	広域 組織数	面積 (ha)	交付金額 (千円)	負担割合 (%)		
				国	県	市
農地維持支払交付金	1	712	15,151	50%	25%	25%
資源向上支払交付金 (共同活動)	1	712	8,343	50%	25%	25%
資源向上支払交付金 (長寿命化)	1	635	10,109	50%	25%	25%
広域活動組織運営交付金	1	—	600	0%	0%	100%
計	1		34,203			

農道の草刈りの状況



遊休農地発生防止のための保全状況



耕作道保全活動の状況



景観形成のための施設への植栽状況



款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	6	農村環境施設管理運営費	39,641 千円	30,440 千円	268～275

【農林課】

下記の施設・設備等の保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりを行いました。

○農村環境改善センター管理運営費 **4,825 千円**

○有明農業者トレーニングセンター管理運営費 **1,500 千円**

○有明農林漁業体験実習施設（舞岳山荘）管理運営費 **24,115 千円**

▼利用者数

(単位：人)

施設名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
農村環境改善センター	16,649	9,186	10,074	10,069
有明農業者トレーニングセンター	26,175	17,148	12,367	15,769
舞岳山荘	6,023	1,959	2,273	3,488
計	48,847	28,293	24,714	29,326



<農村環境改善センター>



<有明農業者トレーニングセンター>



<舞岳山荘>



款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	2	2	林業振興費	19,263 千円	14,467 千円	274～277

【農林課】

○松くい虫対策事業 3,069 千円

松くい虫は森林病害虫に指定されており、松枯れ被害拡大防止のため駆除が必要です。松林を松くい虫から保護するため、地上からの薬剤散布による防除及び被害木の伐倒駆除処理を行いました。

事業の成果としては、適期防除と伐倒駆除処理により、松くい虫被害の拡大防止が図られ、松林の健全な育成と保全に繋がりました。

実施場所	有明町水之出口地区、湊島、秩父が浦
事業量	地上散布：2.29ha、伐倒駆除：118本



[地上散布]



[被害木の伐倒]

○市有林整備事業 1,741 千円

市有林の健全な育成と適正な管理を図るため、下刈り・枝払い等を行いました。

事業の成果としては、下刈り等の実施により、適正な管理等が図られ、森林環境や生活環境の保全に繋がりました。

区分	面積
市有林管理（下刈等）	2.83ha

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	3	2	水産業振興費	29,986 千円	16,401 千円	276～281

【耕地水産課】

○活力ある海づくり事業費補助金 2,112 千円

(有明漁協：673 千円 島原漁協：1,439 千円)

有明海の漁業資源の回復を図るため、種苗放流事業を行う有明海栽培漁業推進協議会に加入する有明漁協・島原漁協に対し補助を行いました。(市補助率 75%：漁協負担金の 75%を補助)

- ・放流実績 (諫早湾漁協から島原半島南部漁協までの 8 漁協合計分)

(単位：尾)

魚種	ガザミ	クルマエビ	カサゴ	トラフグ
尾数	100,000	1,450,000	30,000	25,000

カサゴ放流状況



ガザミ放流状況



○ひとが創る持続可能な漁村推進事業費補助金 1,500 千円

担い手の定着促進のため、就業定着意欲のある者に対する生活費等を助成し、担い手の確保育成を図りました。(負担割合：県 50%、市 50%)

- ・技術習得支援事業【新規就業者の生活費等】・令和 4 年度実績 研修者：2 人 1,500 千円

○水産多面的機能発揮対策事業負担金 2,403千円

島原地区及び有明地区環境・生態系保全活動組織が、藻場・干潟の機能の維持・回復を図る取り組み相当分に対し、長崎県水産多面的機能発揮対策地域協議会に負担金を支出しました。

(負担割合：国 14/20、県 3/20、市 3/20 ※海難救助訓練は国費 100%)

(千円)

活動組織	内容及び事業費		国		県	市
	内容	事業費	14/20	20/20	3/20	3/20
島原地区環境・生態系保全活動組織	1. 藻場の保全	1,958.4	1,370.88		293.76	293.76
	2. 干潟の保全	4,569.6	3,198.72		685.44	685.44
	3. 漂流・漂着物除去	2,937.6	2,056.32		440.64	440.64
	4. 海難救助訓練	384		384		
小計		9,849.6	6,625.92	384	1,419.84	<u>1,419.84</u>
有明地区環境・生態系保全活動組織	1. 藻場の保全	1,088	761.6		163.2	163.2
	2. 干潟の保全	4,080	2,856.0		612.0	612.0
	3. 漂流・漂着物除去	1,904	1,332.8		285.6	285.6
小計		7,072	4,950.4	0	1,060.8	島原市分 <u>982.7</u> (雲仙市分 78.1)
合計		16,921.6	11,576.32	384	2,480.6	島原市分 <u>2,402.5</u> (雲仙市分 78.1)



島原地区ヒジキ付着促進ブロック設置



有明地区アマモ移植



島原地区ヒジキ繁茂状況



有明地区アマモ繁茂状況

○県営水産環境整備事業負担金 2,426千円

有明海沿岸地区において海底耕耘を実施するとともに、底質が悪い諫早湾において、耕耘と合わせ貝殻等を散布し、底質の改善に取り組むことにより、底棲生物の生息環境を改善し、漁場の生産能力向上と漁獲の増大を図りました。

県営水産環境整備事業の主な内容

- ・有明海沿岸地区（諫早市、雲仙市、島原市、南島原市）において、漁船を使用して、貝桁による海底耕耘作業等を実施しました。

海底耕耘実施面積 17 km²、測量試験 1 式

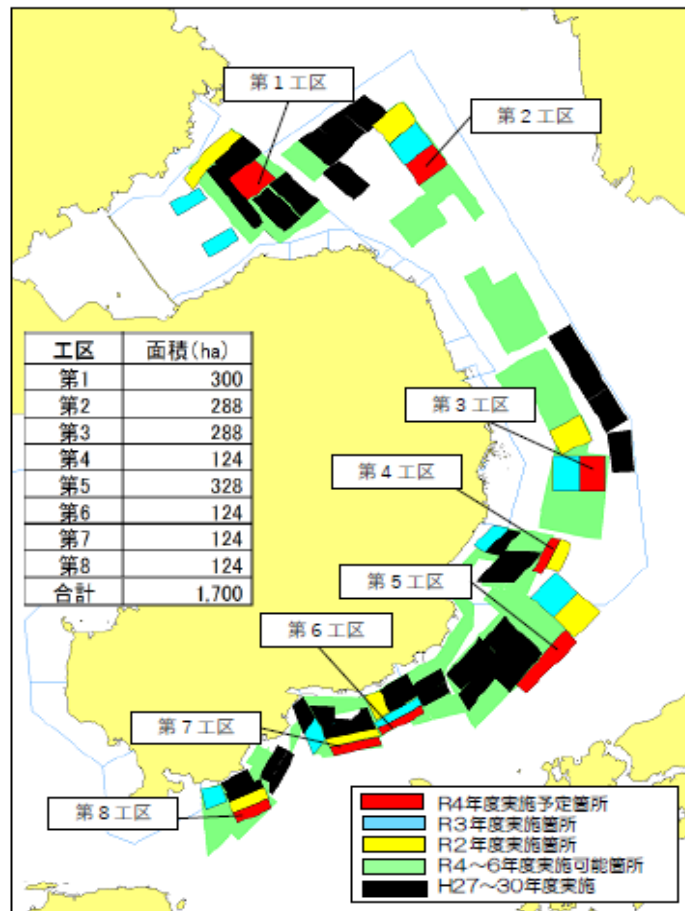
事業費 140,000 千円

（負担割合：国 50%、県 45%、市 5%）

島原市の負担金算出方法

- ・事業費×5%（4市負担金割合）×（島原市の作業船：690隻／4市の作業船：1991隻）
 =140,000,000円×5%×690／1991隻=2,425,915円

令和4年度有明海沿岸地区海底耕うん事業の工区位置（案）



款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	3	3	漁港管理費	132,944 千円	98,912 千円	280～283

【耕地水産課】

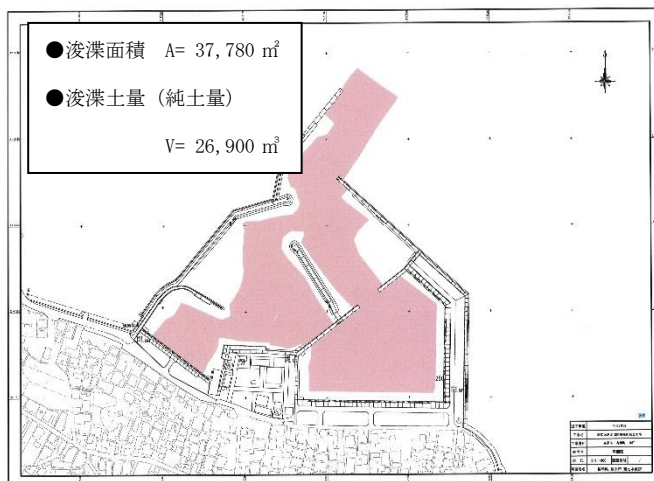
○水産物供給基盤機能保全事業 81,717 千円

負担割合：国 50%、市 50%

水産物供給基盤機能保全事業基本計画に基づき、漁港機能の安全確保と延命化を図るため、湯江漁港の泊地浚渫工事を行いました。（工事は令和3年度からの繰越）

【事業概要】

- ・湯江漁港（浚渫工事） 81,717 千円（令和3年度前払金 54,258 千円）
- ・工期 令和3年10月19日～令和4年9月30日
- ・工事中止期間 令和3年11月1日～令和4年3月24日
（海苔養殖に悪影響を及ぼす可能性があったため）
- ・全体工事費 135,975 千円



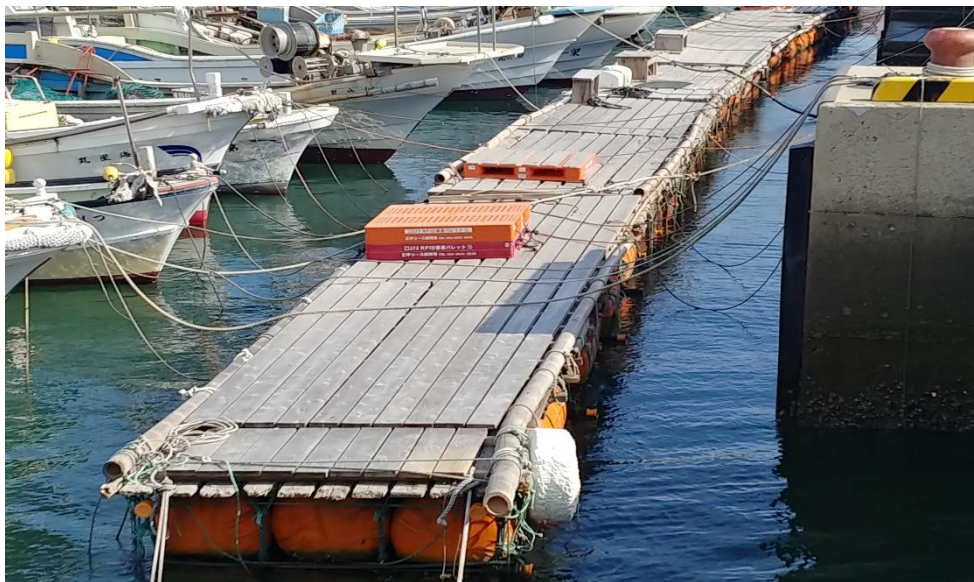
【耕地水産課】

○補修用材料費 2,947千円

島原市が管理する漁港において浮棧橋が劣化し、非常に危険な状況であるため、浮棧橋を補修するための原材料等を支給しました。

【事業概要】

・湯江漁港 ・全体支給額 2,947千円



款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	2	商工業振興費	381,706 千円	262,225 千円	282～291

【商工振興課】

○中小企業振興利子補給等補助金 54 千円

市内中小企業に利子補給及び保証料補給を行い、経営の改善と産業の発展に寄与しました。

補助件数 1 件

内訳…日本政策金融公庫資金（利子のみ）：1 件

○島原城大手門市 1,649 千円

島原市役所大屋根広場、周辺商店街及び島原駅一帯を中心としたイベントを企画し、地域を巻き込んだ物産市を開催することを以て中心市街地の活性化に寄与しました。

- ◆ イベント名：島原城大手門市
- ◆ 開催期間：令和4年5月14日（土）～令和4年5月15日（日）
- ◆ 実施主体：島原城大手門市実行委員会
- ◆ 来場者数：10,000 人（2 日間累計）
- ◆ 出店者数：83 店舗（2 日間累計）



○商店街活性化事業 273 千円

中心市街地の商店街における空き店舗の有効活用を通して、新規出店における商店街の活性化を図る「しまばら出店応援ナビ制度」により空き店舗解消を図りました。

また、「しまばら出店応援ナビ制度」を活用した出店者において、店舗改装費や広告宣伝費を補助する「島原市商店街活性化事業補助金」での支援を行いました。

- ◆ しまばら出店応援ナビ制度（令和4年度新規登録）
 - ・空き店舗登録1店舗 ・利用者登録2人 ・仲介事業者登録1事業者
 - ・交渉申込件数2件（うち成約2件）
- （島原市万町商店街振興組合1件、中堀町商店街協同組合1件）
- ◆ 島原市商店街活性化事業補助金
 - ・補助件数1件（島原市万町商店街振興組合）

○商店街等を核とする地域のにぎわい創出支援事業 1,600千円

商店街が作成した商店街活性化プランに基づく取り組みを推進するため、商店街がにぎわい創出のために実施した事業に対し、支援を行いました。

総事業費に対する負担割合は、県費 4/10、市費 4/10、事業者 2/10。

補助件数 1件（島原市中堀町商店街協同組合）

○企業誘致活動事業 9,659千円

企業誘致の候補地である杉谷運動広場周辺の適地調査として、工業用水の確保に関する水源調査を実施し、企業誘致への情報収集を行い、誘致候補地の調査を行いました。

また、「島原でしてみんねテレワーク支援事業補助金」については、東京都の4社5人が本補助金を利用し、お試しテレワーク体験を実施するとともに、長崎県との共同事業である「長崎県ワーケーション受入促進事業」において、2社5人のワーケーション実施を誘致しました。

○サテライトオフィス等開設支援事業 643千円

令和3年度に本事業によって開設したコワーキングスペースの運営事業者へ、建物の賃借料並びに通信費に対する補助を行いました。

○企業立地促進・雇用創出事業 3,183千円

令和2年に審議会で指定された事業者に対して、立地奨励金、土地家屋賃借奨励金、雇用奨励金を補助しました。当該案件により令和3年度は50人の雇用が生まれており、令和4年度は新たに1名が新規雇用となり本市での雇用確保に寄与しました。

(千円・人)

業種	投下固定 資産額	新規 雇用者数	奨励金種別				年度計
			立地	施設整備	土地家屋賃借	雇用	
製造業 (1件)	15,690	1	1,281	-	1,402	500	3,183

■支援メニュー

立地奨励金	取得した固定資産額にかかる固定資産税相当額を3年間補助 (改修の場合は対象外)
施設整備奨励金	投下した固定資産額(土地代を除く)の取得額又は改修に要した経費に新規雇用者の数に応じて一定の率(5%~10%)を乗じた額を補助 ※限度額 1億円(改修の場合2千万円)
土地家屋賃借奨励金	土地・家屋賃借料の25%を3年間補助 ※限度額1千万円/年
雇用奨励金	新規雇用した人数に対する補助 ・正規雇用者×50万円/人 ・短期雇用者×25万円/人 ※限度額 5千万円

○雇用拡大支援事業 1,800 千円

市内の事業所に就職した新規学卒者やU I ターン者（若者）に対する支援を行い、若者の定住を促進しました。

新規学卒者 8人 Uターン者 7人 Iターン者 7人

○地場産業事業拡充促進事業補助金 8,000 千円

市内における雇用機会の拡充を行い、定住、定着、移住の促進を図るため、雇用増に直接寄与する生産能力の拡大、商品・サービスの付加価値向上等の事業拡充を行う小規模事業者へ支援を行いました。補助金の財源負担割合は、国費 1/2、県費 1/4、市費 1/4。

補助件数 2件

○創業支援等利子補給事業 312 千円

創業関係融資を受けた創業者に利子補給補助を行い、創業時における負担軽減を図りました。

補助件数 10件

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	3	観光費	581,610 千円	558,849 千円	290～303

【しまばら観光課】

○観光宿泊施設支援事業 13,440 千円

観光の振興と地域の活性化を図るため、温泉給湯事業を利用するホテル・旅館等が実施する宣伝PRや地元の食材提供などに要する経費を対象として支援を行いました。

○島原城築城 400 年武将隊 PR 事業 15,000 千円

演舞披露や甲冑体験、情報発信、PR活動などを行い、城下町島原のイメージ定着化を目指しました。

また、新商品開発やPRグッズの開発も行い、令和6年に迎える島原城築城400年に向けた機運醸成に努めました。

島原城入場者数は新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも約153,000人と前年度より約32%増加しました。

島原城内での武将隊による観光客へのおもてなしは、大変好評であり、島原での旅の満足度向上に寄与しました。



○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 8,225 千円

国登録有形文化財「旧三村家(湧水館)」を活用し古民家喫茶事業を行うことで、観光客は館内でゆっくりと時間を過ごすことができ、滞在時間の延長及び観光消費額拡大を図りました。

令和4年度入館者数と運営収入

入館者数	13,187 人
喫茶事業 (店内、テイクアウト)	5,803,390 円
かんざらし手作り体験教室	144,000 円
物販	289,323 円



○島原めぐり事業 874 千円

従来は島原城や鯉の泳ぐまちなどの主要な観光スポットを繋ぐ公共交通機関がなかったため、市内の主要な観光スポットを周遊する「しまばらめぐりんバス」等を活用し、滞在時間の延長や観光消費額の増加を図りました。

- ・めぐりんチケット販売冊数：1, 536冊
- ・しまばらめぐりんバス：バス停9カ所、土日祝80日間運行（1日7便運行）

○島原市スポーツキャンプ等誘致補助金 4,558千円

県内外からの交流人口の増加による観光振興及び地域の活性化を図るため、プロサッカーチーム（ギラヴァンツ北九州）やフェンシング日本代表チーム、陸上チームのキャンプをはじめ、全国大会等の各種スポーツ大会を誘致しました。

（キャンプ）

種 目	参加者数	延宿泊者数
サッカー（プロサッカー ほか）	398人	1,437人
フェンシング（日本代表チーム ほか）	534人	1,079人
野 球（高校 ほか）	100人	195人
陸 上（実業団）	12人	105人
バスケット（大学）	14人	14人
合 計	1,058人	2,830人

（大 会）

種 目	参加者数	延宿泊者数
サッカー		
U-18 サッカープリンスリーグ九州	60人	0人
九州大学サッカートーナメント大会	500人	360人
サマーカップU-18 サッカー大会 in 島原	476人	979人
国際チャレンジ杯 IN 長崎大会	418人	101人
U-18 サッカーリーグ 20222022 長崎県リーグ 1部	50人	0人
九州大学サッカーリーグ	50人	25人
九州高等専門学校U-19 サッカー大会	320人	437人
西日本OB サッカー連盟九州地域冬季・島原大会	243人	140人
大学サッカーフェスティバル in 島原	447人	2,022人
医学部大学サッカーフェスティバル in 島原	200人	149人
九州 JrCUP	400人	182人
島原U-17 サッカーチャレンジカップ	300人	511人
フェンシング		
全国高等学校選抜フェンシング大会	1,000人	1,550人
野球		
西日本中学硬式野球島原大会	300人	1,019人
合 計	4,764人	7,475人



▲キラヴァンツ北九州キャンプ



▲西日本中学硬式野球大会



▲全国高校フェンシング大会

○大会・会議等誘致奨励金 3,263 千円

観光振興及び地域の活性化を図るため、各種大会・会議・研修会等を開催する団体に対して、市内宿泊施設に宿泊した延べ人数等に応じて奨励金の交付を行い、交流人口の拡大を図りました。

区 分	件数	延宿泊者数	金 額
島原市大会・会議等誘致奨励金	33 件	15,478 人	3,262,500 円

○九州オルレ「島原コース」推進事業 1,441 千円

九州オルレ「島原コース」のコース整備やイベント等による利用促進を行い、交流人口の増加を図りました。

- ・コース利用者数 4,024 人（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

- ・イベント参加者数

- ①九州オルレフェア 140 人（令和4年11月19日開催）

- ②3周年記念イベント 94 人（令和5年2月23日開催）



「カンセと平成新山」



「3周年記念イベント」

○島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設指定管理料 41,200 千円

島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設（鯉の泳ぐまち観光交流センター「清流亭」、しまばら湧水館、湧水庭園「四明荘」）を指定管理者が一元的に管理運営することにより、周遊型観光の促進及び滞在時間の延長を図りました。

年度	指定管理料	利用者数			
		島原城	清流亭	湧水館	四明荘
R 4	41,200,000 円	73,041 人	29,107 人	13,187 人	29,181 人
R 3	55,000,000 円	68,873 人	26,193 人	6,900 人	18,411 人
R 2	20,000,000 円	59,319 人	23,303 人	6,376 人	15,148 人
R 1	8,500,000 円	124,100 人	39,492 人	14,790 人	28,201 人
H 3 0	9,000,000 円	119,734 人	32,868 人	16,783 人	29,630 人

○浜の川湧水観光交流施設指定管理料 0 円

本市特有の観光資源である「湧水」を活用した交流施設として、島原の名物である「かんざらし」等の提供を行うとともに、魅力的な観光スポットとして島原城や鯉の泳ぐまちと併せた周遊化及び滞在時間の延長と交流人口の拡大を図るため、令和3年度から管理運営を指定管理者に委託し、効果的な運営を図りました。令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも指定管理者の経営努力により、利用者数及び運営収入も改善され、指定管理料0円が実現できました。

年度	指定管理料	利用者数
R 4	0 円	23,161 人
R 3	1,400,000 円	19,598 人
R 2		19,076 人
R 1		29,409 人
H 3 0		22,790 人

○島原温泉ゆとろぎの湯指定管理料 29,000 千円

市民の健康増進や観光客の市内周遊化、中心市街地の活性化を図る目的で建設した温浴施設「島原温泉ゆとろぎの湯」の管理運営を指定管理者に委託し、効果的な運営を図りました。

年度	指定管理料	利用者数
R 4	29,000,000 円	62,934 人
R 3	23,000,000 円	52,581 人
R 2	20,000,000 円	55,114 人
R 1	13,000,000 円	75,150 人
H 3 0	10,000,000 円	71,307 人

○島原城築城400年記念事業補助金 2,069千円

令和6年に迎える島原城築城400年に向け、島原城・城下町の歴史や文化を再認識し、次世代に伝承するための事業を実施しました。

- ・島原みらいキャンパス（講座回数6回、参加者数：227人）
- ・島原城の七不思議（参加者数：143人 令和4年10月15日開催）
- ・島原城一斉清掃（参加者数：約250人 令和4年11月12日開催）
- ・「しまばらkidsお城展」（令和4年7月16日～令和5年1月31日開催）ほか



島原みらいキャンパス



島原城一斉清掃

○島原城整備事業 265,751千円

令和6年に迎える島原城築城400年に向け、島原城の景観整備を図るため、矢狭間塀の改修や島原城天守閣外壁等改修工事などを実施しました。

事業名	契約額	年度中支払額
島原城矢狭間塀改修工事 (令和3年度・4年度)	79,200,000円	51,700,000円
島原城天守閣外壁等改修工事	209,187,000円	209,187,000円
島原城天守閣防火設備修繕工事	354,200円	354,200円
島原城天守閣非常誘導証明器具改修工事	4,510,000円	4,510,000円



島原城天守閣外壁等改修工事

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	4	ふるさと産業振興費	58,792 千円	48,168 千円	302～305

【商工振興課】

○特産品PR催事事業費 1,715 千円

（ホームページ・パンフレット管理活用事業、特産品認定・催事支援事業）

本市特産品のブランド化の一環として、商品の魅力が向上し、消費者に愛される特産品となるよう、各種催事等を積極的に活用した情報発信・PRを行いました。また、地元百貨店の催事場でのフェアへの継続的な参加を行いながら、福知山市や福岡市での物産展等への参加も行いました。

- ・物産展等開催・参加回数 6回
- ・延べ出展事業者数 28事業者



第30回福知山マラソン
「姉妹都市友好島原物産展」



長崎浜屋百貨店
「島原特産品フェア」

○特産品流通促進事業費 718 千円

（商談会等開催事業、島原産品プロモーション事業）

本市特産品が都市圏における大手百貨店等において、常備流通商品として定着化が図れるよう、バイヤーと地元生産者が直接面談しアドバイスを受けられる商品相談会を開催しました。有名レストランと連携し、本市産品の生産者とのマッチングによりフェアを開催し、魅力ある本市産品の情報発信を行うとともに、レストランへの販路開拓を図りました。

- ・バイヤー招聘商品相談会 1回 参加事業者10事業者
- ・レストラン食材マッチング 1回 参加生産者14事業者
- ・レストランと連携した島原フェア 1回 参加生産者19事業者

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	5	有明の森フラワー公園管理費	19,455千円	19,070千円	306～307

【商工振興課】

○有明の森フラワー公園指定管理経費 19,070千円

市民の休養・憩いの場を提供し健康増進を図るとともに、観光交流の場として本市の活性化に資するため設置している島原市有明の森フラワー公園について、指定管理者へ管理運営を委託し、効果的な運営を図りました。

- ・R4利用者 約55,000人



有明の森フラワー公園

<花カレンダー（見ごろの時期）>

花の種類	開花時期
菜の花	3月～4月
桜	4月
パンジー	4月
サルビア	5月～11月
マリーゴールド	5月～11月
コスモス	10月